



シリーズ

武雄の治水

vol.10

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

民間ボランティアの活動

民間ボランティアでは、公助ではカバーすることができない、被災地の細かなニーズに目を向けた活動が行われています。

復旧・復興のために必要不可欠な存在

民間ボランティアでは、災害時の被災家屋の片付けなどの直接的な活動だけでなく、被災者への寄り添いなどの間接的な活動も行われており、復旧・復興のために必要不可欠な存在として大きな役割を果たしています。



活動の紹介

佐賀災害支援プラットフォーム

佐賀災害支援プラットフォーム(通称:SPF)は、被災地支援のためにアクションを起こしたい佐賀県民または佐賀県に所縁のある市民が、それぞれに活動をし、その情報交換や協力をするために集った「想いのプラットフォーム」です。令和4年10月末現在、SPFには県内外のボランティア団体やNPO団体・事業者・大学など60団体が賛同されています。武雄市を拠点に活動されている一般社団法人「おもやい」も賛同団体の一つです。

市と連携協定を締結

市では、令和3年10月にSPFと災害発生時における連携協定を締結しました。災害時はもちろん、平時においても連携し、地域防災力の強化を図っています。

POINT!!
協定締結により

- ◎ 被災者からの声をもとに様々なニーズに寄り添った避難生活と生活再建
 - ◎ 平時における訓練や各種計画策定に関する会議、講座の講師やアドバイザーなどの支援
- などにご協力をいただいています。



市と連携した被災家屋へのヒアリング



市の総合防災訓練で地域の課題を共有

活動の詳細はこちら



NEWS

広田川排水機場の着工式が行われました

10月28日(金)、広田川排水機場(北方町)の着工式が行われました。広田川排水機場は、令和元年8月の豪雨災害を受けて採択された「河川激甚災害対策特別緊急事業」の一つです。佐賀県により事業が進められており、排水機場は毎秒5立方メートルの排水能力となります。大雨時に六角川の水位が広田川より高くなる場合には、排水ポンプによって強制的に六角川へ排水します。新たな排水機場が整備されることにより、広田川周辺の浸水被害が防止・軽減されることが期待されます。



広田川排水機場完成イメージ(令和6年度完成予定)

佐賀県 県土整備部 杵藤土木事務所 0954-22-4184

詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

